

令和3年度高知大学教職大学院・高知県教育センター共催講座 実施要項

「発達障害等のある児童生徒が授業に参加・理解するための授業づくり」

- 1 目的 発達障害・学習困難のある児童生徒の「学習のつまずき」に配慮した学習指導が行えるよう、発達障害のある児童生徒の学習における配慮のポイントについて講義と実践報告によって理解を深めることを目的とします。まず、授業のユニバーサルデザイン（UD）化がなぜ発達障害・学習困難等のある児童生徒のために必要なのかについて講義を行い、次に学習困難に配慮した算数指導の模擬授業、ICT活用した通級指導教室での自立活動の実践報告を行います。後半の模擬授業、ICT活用実践例は教職大学院で学んだ成果を発表します。最後にグループ協議を行って研修の中で各自の教育実践に活用できるか共有を行う予定です。
- 2 主催 高知大学大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻
- 3 共催 高知県教育センター
- 4 後援 なし
- 5 期日 令和3年10月21日（木）
- 6 会場 所属校（zoom 配信）
- 7 対象 保育士、幼稚園教諭、保育教諭、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校教員、特別支援学校教職員、特別支援教育支援員、高知大学大学院生
- 8 定員 70名
- 9 申込方法 公立学校教職員は教職員研修管理システムにて、国私立学校教職員、保育施設職員、大学生はFAXにて申し込んでください
- 10 参加費 無料
- 11 令和3年10月21日（木）9：30～16：00（受付9：00～9：30）
 - 9：30～9：35 あいさつ
 - 9：35～12：00 講義 「発達障害等のある児童生徒が授業に参加・理解するための授業づくり」
高知大学教職大学院 教授 松本秀彦
 - 13：00～14：00 実践報告① 小学校における算数困難児童への指導
高知大学教育学部附属小学校 近藤修史
 - 14：00～15：00 実践報告② 通級指導教室における指導：自立活動とICT活用
高知県立高知江の口特別支援学校 前田正博
 - 15：10～15：50 グループ協議・発表・アンケート記入
 - 15：50～16：00 閉会行事